

# 内頸動脈瘤クリッピングにおける短尺 3Fr アンギオシースを用いた直視下経皮的総頸動脈アクセスによる retrograde suction decompression 法の技術的実行可能性に関する後方視的研究

済生会熊本病院では、医学の発展とより安全な手術手技の確立を目的として、患者さんの診療情報、画像および手術動画を使用し、本研究を実施します。ご質問や情報利用停止のお申し出は、末尾の「問い合わせ先」へご連絡ください。

## 研究の目的と方法

内頸動脈瘤のうち、大きい、首が広い、視神経や細い血管に癒着しているなどの症例では、手術中に動脈瘤内の血液を一時的に吸引して柔らかくする retrograde suction decompression (RSD) という補助手技を用いることがあります。当院では、頸部の頸動脈を露出し、細い 3Fr×5cm のシースを皮膚から総頸動脈を経て内頸動脈へ留置して吸引する方法を行ってきました。本研究では、この方法を受けた患者さんの診療記録、画像および手術動画を調べ、シースを確実に留置できたか、動脈瘤を十分に減圧できたか、留置時間、血流遮断時間、穿刺部の出血・血腫・血管損傷、脳梗塞などの合併症を検討します。

診療を通じて既に記録された情報のみを使用します。この研究のために新たな検査、治療、通院または調査をお願いすることはありません。

## 研究の対象となる方

2017 年 1 月から 2024 年 12 月までに済生会熊本病院で内頸動脈瘤クリッピング術を受け、3Fr×5cm アンギオシースを用いた RSD を施行された方(予定 17 名)

## 使用する試料・情報

年齢、性別、発症形式、手術日、動脈瘤の部位・大きさ・破裂の有無、併用手術、シースの留置成功、留置所要時間、血管内留置時間、血流遮断時間、RSD の反復回数、吸引量(記録がある場合)、シースの固定・逸脱・屈曲・閉塞、穿刺部の閉鎖方法、頸部出血・血腫・血管損傷、術後神経学的所見、術前後 CTA・DSA・MRI (DWI)、手術記録、麻酔記録、手術画像および手術動画

使用開始予定日:2026 年 7 月 31 日

## 研究予定期間

2026 年 7 月 31 日～2028 年 3 月 31 日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を直接特定できる情報を解析用データから削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は解析データとは別に、院内のセキュリティ管理された環境で保管し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果は学会や医学雑誌で発表する予定です。手術画像や動画を使用する場合も、氏名、患者 ID、撮影日時など個人を特定できる情報を削除し、個人が特定されることはありません。

[研究情報管理責任者]脳神経外科 加治正知

[個人情報管理責任者]院長 中尾浩一

## 研究への協力について

---

研究目的にご自身の診療情報、画像または手術動画を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も診療上の不利益は生じません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書その他の関連資料を閲覧できます。

### 問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経外科 加治正知

住所: 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

電話: 096-351-8000(代表)

対応時間: 平日 9 時～17 時